

■履修モデル 中学社会・高校公民

区 分	必要 単位数	種 別	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次			
			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
教育の基礎的理解に 関する科目	10	必修	特別支援教育	* 教職入門 * 教育心理学	* 教育原理	* 教育行政						
		選択										
道徳、総合的な学習 の時間等の指導法及 び生徒指導、教育相 談等に関する科目	中学：10 高校：8	必修				総合的な探求の 時間の指導法						
						特別活動指導法					教育課程の編成と ICT活用を含む教 育の方法	教育相談の理論と 方法
						* 生徒指導論 * 進路指導論						
		中学：必修					道徳教育指導論					
教育実践に関する科 目	中学：7 高校：5	必修							教育実習Ⅰ・Ⅱ			
									実習指導			
										教職実践演習		
教科及び教科の指導 法に関する科目	中学：28 高校：24	中学：必修			* 社会科・地歴科 指導法Ⅰ	* 社会科・地歴科 指導法Ⅱ						
		必修			* 社会科・公民科 指導法Ⅰ	* 社会科・公民科 指導法Ⅱ						
		必修			地理学							
			民法Ⅰ 国際法 日本地誌 世界地誌									
			経済学 政治学 社会学 心理学 【 哲学 倫理学（いずれか1科目必修）】									
		選択	日本史 a 日本史 b 西洋史 a									
			山形地域論 西洋史 b 文化人類学 法学 環境社会学 ジェンダー論 自然地理学 a 自然地理学 b									
			ミクロ経済学 マクロ経済学 人文地理学 a 人文地理学 b 英国庭園文化論									
				会計学 金融論 企業法務 企業組織の心理学								
				行政学 地方自治論 行政法 統治機構論 政策入門 社会保障論 a								
				社会保障論 b 国際海洋法 公的年金論 民法Ⅱ 地方財政論								
				日本政治論Ⅰ 日本政治論Ⅱ 公共経営論								
				公的扶助論 社会政策 a 社会政策 b								
				国際関係学								
観光政策論 a 観光政策論 b 地域・観光資源論 国際観光論 a 国際観光論 b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光 a 民俗学と観光 b 自然環境の保全と共生 サブカルチャー論												
地理学フィールドワーク												
大学が独自に設定す る科目	中学：4 高校：12	選択	生涯学習論		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ マルチメディア論 職場のメンタルヘルス							
				教育学	障害者福祉論 児童・家庭福祉論 介護等体験(※中学社会免許必修)							
教育職員免許法施行規 則第66条の6に規定す る科目(基礎的な科目)	8	必修	外国語(別掲1) 情報リテラシー		憲法							
					体育と健康 a	体育と健康 b						
					セキュリティ論							
		選択	AⅠと社会 データサイエンス入門 a	データサイエンス入門 b								

注) 1. 中学免許を取得する場合は、「介護等体験」が必修となっている。体験を実施する前年度までに「特別支援教育」を受講しておくこと。

・特別支援学校 2日間(連続して) ・社会福祉施設等 5日間(連続して)

外国語(別掲1)

科目名

英語1・EAP1

英語2・EAP2

中国語1

中国語2

※ 2言語から1言語選択必修

2. 表中に網掛けしている科目は、卒業単位に含まれる。

3. 1年秋学期に『教育学』と『心理学』を受講しておくことが望ましい。

4. 1年春学期から教科に関する科目をなるべく積極的に受講しておくことが望ましい。

5. *印は、教育実習を行う前に履修しなければならない科目。

6. 語学・情報科目と教職必修科目が重なった場合、クラス変更が可能な場合があるので、教職担当教員に相談すること。